

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市大野田児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人ワーカーズコープ	
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・ 令和3年度 27,736人（前年度比 108.5%） ・ 令和2年度 25,556人 ・ 令和元年度 34,257人	
	《事業》 ・ 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 50,865千円（48,389千円） ・ その他市が負担した費用 0千円（0千円）	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円（0千円） ・ その他収入 0千円（0千円）	
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

()は前年度決算額

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人ワーカーズコープ）による自己評価》
<p>「子どもの最善の利益」を念頭に「子どもの主体性」を尊重し、活動に制限がありましたが、新型コロナウイルス感染症対策を万全に、創意工夫をし児童館運営に努めました。</p> <p>【児童健全育成事業】 卓球・バドミントンを行うスポーツDAY・モルック大会や、地域先生によるマジックショー&マジック教室・年賀状の書き方教室・クリスマスキャンドル作り等々、小・中学生参加で異年齢の交流活動ができました。</p> <p>【子育て家庭支援事業】 転出入者が多い地域特性を踏まえ登録制ではなく、いつでも参加できる年齢別プログラムや母親の為のイベント（染物教室・ヨガ）、恒例の年2回のおさがり会を開催し保護者の交流の場となりました。また、保護者支援を重視し、児童発達支援センターと共催の「たんぼぼDAY」を定期的に行い、情報交換や子育ての相談など、必要とする方へ適切な支援ができるよう努めました。</p> <p>【地域交流推進事業】 地域の方々と共に、未来の子どもたちへ「ツナグ支援（フードBOX・制服回収BOX設置）」を開始しました。クリーン作戦では公園のゴミ拾いをして地域の美化活動に貢献し、子どもたちが地域の一員としての自覚を持てるよう促しました。また、子育て支援に携わる地域の団体・施設の集まり「大野田・富沢地域の子育て応援隊」に加わり、新しい支援のあり方について話し合いを行いました。</p> <p>【放課後健全育成事業】 職員手作りのお手玉を全児童に配り、毎月お手玉検定を行いました。SDGsの取り組みの一環として、コロナ禍でも心のつながりを絶やさないよう、何度も「いじめ」について「こども会議」を行い、“人と関わること”について深く考える時間を設けました。また、「ツナグ支援」を児童へも伝え、誰一人取り残されることなく、みんなが安心してこの地域で暮らし続けることができるように小さなことから伝え続けました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置等の発令があったが、児童クラブに関しては、年間通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部は休止としていたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>児童健全育成事業においては、地域先生の指導のもと多様な行事を開催している。小・中学生や他地域からの参加もあり、子ども達の豊かな感性を育みながら、児童の幅広い交流にもつながっている。「スポーツDAY」では、定期的にモルック大会を開催したり、中・高校生からのリクエストに応じてバドミントンを取り入れ、その中で小学生との交流も生まれるなど運動遊びを通して異年齢交流が深まっている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、「年齢別タイム」を申込制として定期的に開催し季節の遊びや工作を提供した。保護者のニーズに応じて「そめもの（ecoみやこ染め）」や「フォトカード作り」「ヨガ」を開催し、保護者のリフレッシュも支援し好評を得ている。転入出の多い地域であることを踏まえて、春と秋に「うえるかむ大野田週間」を開催し情報交換の場を提供したり、地域マップや児童手作りのハザードマップ、お土産コーナーを設置して欲しい情報を持ち帰れるようにするなど、地域における情報提供や保護者同士の交流が図れるよう努めている。</p> <p>地域交流推進事業においては、折り紙や卓球・マジック教室など地域の方々の指導を受けて活動する場が豊富にあり、地域と連携した協力体制のもと、豊かな感性や自主性・社会性など子どもの育ちを支えている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、高学年からサポーターを募り、低学年の遊びや生活のリーダーとして力を発揮できるよう支援した。日々の遊びの中でドッチボールや縄跳びなど体を動かす遊びができる環境を整えると共に、「体操教室」として、走る・スキップなど誰でもできる遊びを取り入れた時間を設けたり、工作を通して手指を使ったり考えたりする機会を設け、児童の心身の健康増進に努めている。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課